



プロジェクトの概要：C4 放射線安全社会

放射線に関するリスク理解の深化と 災害時対応および廃棄物に関する 基盤研究

課題

- ・福島第一原子力発電所の事故以来、**放射線や放射性物質のリスクは、一部の専門家が扱う問題ではなく、暮らしの知恵として市民が共有すべき課題**であることが強く意識されるようになりました。
- ・同時に、**原子力災害時や放射線の医学利用における放射線防護および放射性廃棄物のリスク管理にかかわる課題**にも強い関心が寄せられています。
- ・しかし、**これらの課題の解決は、国内外において切望されながら、いまなお困難な状況が続いています。**



課題解決に向けた

本プロジェクト

本プロジェクトでは、東日本大震災の被災地にある総合大学に特に求められるこれらの課題について、**学内を横断する新たな組織を作り、さまざまな立場の教員の学術資源をもとに、放射線や放射性物質のリスクに的確に対処できる「放射線安全社会の未来像」の提言**を目指します。



本プロジェクトの 内容

- ①放射線についての暮らしに生きる知識の提示
- ②放射線防護にかかわる医学的基盤整備
- ③放射性廃棄物リスクの基盤研究の推進

というテーマを掲げ、工学、理学、医学をはじめ、多分野の知見を総合しながら研究と実践を行います。①については、放射線に関連した研究に携わる本学教員それぞれの放射線リスクの知見を、いかに暮らしの観点から役立てるかを議論し、その内容を社会の多くの方との意見交換の土台とすることから始めます。



C4 放射線安全社会



C4のロゴマークは、**学内外において多くの議論を要するこれら課題に、本学が正面から向き合い、未来社会の構築に貢献していくことを表しています。**